

生産出荷近代化計画の概要

[野菜指定産地名]	登米
[指定野菜の種別]	冬春きゅうり
[指定区域]	登米市
[指定年月日]	昭和50年6月19日
[計画樹立年月日]	昭和51年1月23日
[計画変更年月日]	令和3年3月31日

[変更後の計画概要]

○生産及び出荷の近代化に関する基本構想

本産地は平成17年度に区域変更をし中田町から登米市に区域拡大した。それに伴い生産者、作付け面積の拡大が図られ生産量増加につながった。今後、現在の主力生産者が高齢となり生産力の低下が避けられない状態にあるが、平成7年度より稼働しているきゅうり共同選果場を利用し、労働力軽減を図り、現在の作付け面積の維持を図る他、登米市独自の産地定着拡大事業として、種子・種苗の価格助成を行い新規生産者の誘導に努める。

流通面では、16年度まで各生産組織ごとに、独自のダンボールや出荷規格での販売していたが、17年度よりJAみやぎ登米統一ダンボール、出荷規格での販売を開始し、ダンボールに当地域出身の漫画家石ノ森章太郎氏の仮面ライダーを印刷し、産地PRキャラクターとして、みやぎ登米きゅうりブランドの定着を図ってきた。平成27年度からは同漫画家の代表作『サイボーグ009』を新たに産地PRキャラクターに起用し、PR活動などを実施して、これまで以上にみやぎ登米ブランドの定着化を図っていく。

また、平成27年度の強い農業づくり交付金を活用した選果場の再編整備や、平成30年度には管内にある4つの出荷部会を一つにまとめたJAみやぎ登米胡瓜部会を設立し、令和元年度から産地生産基盤パワーアップ事業による環境制御技術を要した機器の導入も進めており、生産量の増加及び更なる選果場の利用向上を図る。

○生産出荷近代化の現状と目標

項目	現状 (H29)	目標 (R4)
作付面積 (ha)	31	34
生産量 (t)	1,990	2,250
出荷量 (t)	1,770	1,900
共販等量 (t)	1,539	1,634
共販等率 (%)	87	86
収量 (kg/10a)	6,380	6,620